

# 令和4年度 第1回苫小牧市スポーツ推進審議会結果報告書

【日時】 令和4年9月20日（火）18時～19時

【場所】 市役所本庁舎5階第2応接室

## 【出席】

▽苫小牧市スポーツ推進審議会委員 10名（12名中）

本間会長、阿部委員、石田委員、池田議員、小松委員、澤井委員、  
中村（峰）委員、中村（誠）委員、林崎委員、山根委員

## ▼事務局（市）

まちづくり推進室 : 柴田室長

スポーツ都市推進課 : 畠山課長、榊田課長補佐、奥井主査、寛那見主査、  
大村主事、丸谷主事、脇坂主事、佐藤主事、  
高家主事

~~~~~議事内容（審議経過・意見・質問等）~~~~~

### 1 開会

### 2 新任委員紹介

### 3 スポーツ都市推進課新任職員紹介

### 4 副会長の選出

中村（峰）委員を選出

### 5 会長挨拶

### 6 議事（進行：本間会長）

※以下の質疑・意見については、▽は委員発言、▼は事務局発言。

#### (1) スポーツ推進計画における令和3年度事業実施実績及び令和4年度事業 予定について

※事務局から説明（資料1—①、資料1—②参照）

▽本間委員長

パラスポーツ事業では、実際に経験があるかどうかの方が大切だと思うがどのような方が講師をされているのか。

▼事務局

フライングディスク教室やボッチャ教室については、それぞれの競技の協会から講師を派遣していただいている。

車いすバスケットボール教室については、地元のチームに協力をお願いしている。

フロアカーリング教室については、競技を推進している苫小牧市スポーツ推進委員会に依頼をしている。

▽中村（誠）委員

今後、車いすバスケットボール教室の講師に、トップアスリートを呼びたいと考えているが、そのことについて市はどう考えるか。

▼事務局

そのことについては良い考えだと思う。

ただし、トップアスリートとなると道外等から参加していただくため、旅費等の費用面の問題も想定されることから、来年度以降の開催に向けて相談をさせていただくことになるかもしれない。

▽石田委員

陸上の全道大会では会場のトイレの数が少なく困っている人が多くいた。

また、選抜アイスホッケー大会等、他の大会と期日が重なってしまうと泊まれるホテルが無く、せっかく港や空港が近く、気候にも恵まれているのに、残念である。

▼事務局

陸上の全道大会のトイレ問題については、開催前から懸念されていたが、まずは実際に大会を開催し、どのように改善したら良いか考えていこうという段階だった。

来年度は2,000人規模の大会となるインターハイがあるため、仮設トイレ等を設置し対応する予定となっている。

なお、来年度の選抜アイスホッケー大会は、インターハイの日程と重なるため開催時期を変更する方向で調整している。

▽小松委員

陸上の全道大会において、駐車台数が多かったという声がある一方で、実際に駐車ができない人も多くいた。

大きな大会になるほど駐車場の問題が出てくるため、市として改善してほしい。

▼事務局

大会が重なる時期には、入場制限を設けるなどの対策が必要になってくる。

ただし、駐車場は常時不足している訳ではなく、不足するのは限定的であることから、その際は、ハイランドスポーツセンターの方に駐車をしていただく等の対応をお願いしたいと考えている。

(2) 第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会の結果について

※事務局から説明（資料2-①、資料2-②参照）

質疑なし

(3) 苫小牧市屋内ゲートボール場の改修について

※事務局から説明（資料3参照）

▽本間会長

ネーミングライツは募集するのか。

また、工期による閉館はどの程度を予定しているか。

▼事務局

ネーミングライツについては、今後考えていきたい。

今回は、施設の条例上、名前が苫小牧市屋内ゲートボール場となっているので、そちらの名称変更を行うことになる。

工期については令和4年9月28日から令和5年1月10日を予定しており、10月末から12月末までが閉館となる予定。

(4) 次回の審議会について

※事務局から説明（次回開催は令和5年3月予定）

7 その他

8 閉会